

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	のびっこらんど悠悠 (児童発達支援事業)			
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 8日		～	令和7年 2月 3日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数)	5名
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 8日		～	令和7年 2月 3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月3 日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	言語聴覚士、保育士、児童指導員による専門的な支援を行っている。	アセスメントを多角的に行うことで充実した支援内容になるよう検討している。	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を更に設けていきたい。
2	楽しく通えている	季節の行事やイベント、親子支援を含めプログラムを設定している。楽しく参加できるような課題設定や活動を行っている。また、プログラムが固定しないよう工夫している。感覚統合やルールあそびなど発達段階に合わせ、様々な経験ができるような内容にしている。	今後も季節に合わせたイベントや自立に向けた社会体験ができるよう工夫し対応する。
3	未就学児から継続して利用により、関係機関との連携が取りやすく、協力しやすい体制が取れている。	行政や相談支援専門員に子どもの様子や保護者の様子で変化や気になることがあった際には連絡を取り、情報共有し関係機関と連携を図っている。	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を更に設けていきたい。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流が足りない	近隣の小学校や、幼稚園、保育園、こども園や地域住民の方の協力体制はあるが、広く交流する機会はない。	オープンイベントや研修を地域で行うことで交流の機会を作る。
2	保護者同士の交流	保護者サロンについては不定期であることや、平日に行っていることもあり、お仕事をされている保護者の方については参加できない場合が多い。	土曜日、日曜日、祝日などでの開催を検討していく。
3	事業所からの発信力	広報誌や月の予定表、行事案内、HPなどで活動をアップしているが、アクセス先などをアピールできていない。	協会HPアドレス ffk.jp の周知や閲覧方法などについて広報活動を行う。